第3章 BroadStation の設定画面の機能

■この章でおこなうこと

BroadStation の設定画面を使用してできる、さまざまな機能について説明しています。

3.1 BroadStation の設定画面の使い方

3.2 設定画面で使える機能

3.1 BroadStation の設定画面の使い方

■ 設定画面とは

BroadStation の設定画面では、簡易設定、詳細設定、機器診断をおこなうことができます。

簡易設定

最小限の入力をするだけで、BroadStation の設定ができます。

詳細設定

基本設定やアドレス変換、ルーティング設定など項目別に入力をして、BroadStation の設定をします。

機器診断

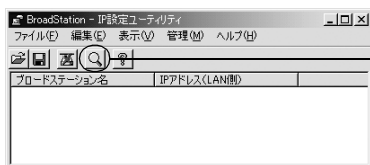
BroadStation の本体情報やネットワーク情報などを表示します。

■ 設定画面を表示する

BroadStation の設定画面は、以下の手順で表示できます。

1 「らくらく！セットアップシート」の「4-1　IP　設定ユーティリティを入れます」を参照して、設定用パソコンに IP 設定ユーティリティをインストールします。

2 ［スタート］－［(すべての) プログラム］－［MELCO INC］－［BroadStation］－［IP 設定ユーティリティ］を選択します。

3

［ブロードステーション検索］ボタンをクリックします。

4 BroadStation の検索が始まります。

5

BroadStation が表示されます。

6

1 選択　検索された BroadStation を選択します。

2 選択　［管理］－［ブロードステーション設定］を選択します。

7

WEB ブラウザが起動して、設定画面が表示されます。

設定画面が表示されないときは、「第 2 章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」（P52）を参照して、ブラウザの設定を確認してください。

■　使い方をヘルプで見る

BroadStation の設定画面について詳しく知るには、ヘルプを参照してください。
ヘルプは、以下の手順で表示できます。

1　「設定画面を表示する」（P86）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。

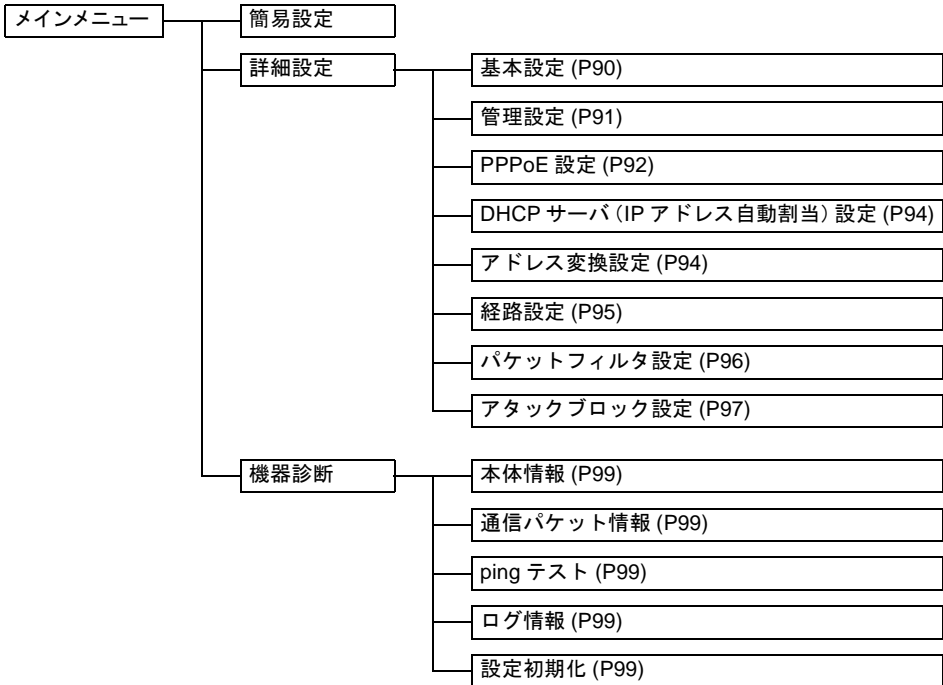
2　設定項目のとなりにある「？」マークをクリックします。

1 クリック

ブロードステーション情報 ?
名前 AP000740AA0003
時間 0(days) : 05:36:47
システム状態 正常
情報更新

3　ヘルプ画面が表示されます。

3.2 設定画面で使える機能

■　設定画面の構成

■　詳細設定画面の機能一覧

メモ
- ※印のある項目は、簡易設定画面でも設定できます。
- 設定画面について、詳しくは設定画面上のヘルプを参照してください。

項目	説明	出荷時設定
基本設定		
ブロードステーション名※	BroadStation 名称を設定します。 メモ 半角英数字（大文字 / 小文字の区別あり）および、「-」を 32 文字まで入力できます。	"AP"+BroadStationのLAN側 MAC アドレス
WAN 側 MAC アドレス	WAN 側の MAC アドレスを設定します。 注意　不正なアドレスを入力して使用すると、BroadStation だけでなくネットワーク上の他の機器も使えなくなります。この設定はお客様の責任においておこなってください。	デフォルトのMACアドレスを使用
WAN 側通信方式	WAN 側の通信方式を切り替えます。 注意 • 自動に設定した場合、実際の通信方式は［機器診断］－［本体情報］にて確認が可能です。 • 有線に接続したハブが全二重に対応していない場合に全二重を設定すると、通信速度が低下したり通信不可能となります。	自動
WAN 側 IP アドレス※	BoardStation の WAN 側の IP アドレスを設定します。	DHCP サーバから IP アドレスを自動取得

項目	説明	出荷時設定
デフォルトゲートウェイアドレス※	デフォルトゲートウェイのIPアドレスの設定を行います。 デフォルトゲートウェイが存在しない場合は空欄にしてください。 WAN 側 IP アドレスを自動取得している場合、デフォルトゲートウェイは自動取得します。 ※ WAN 側 IP アドレスが手動設定時のみ設定が可能です。	空欄
DNS（ネーム）サーバアドレス※	BroadStation が名前解決に使用する DNS サーバを指定します。 プロバイダから指定がある場合に設定してください。	空欄
LAN 側 IP アドレス※	BroadStation の LAN 側の IP アドレスを設定します。	192.168.0.1 （255.255.255.0）
DHCP サーバ機能※	IP アドレスを BroadStation から自動的に割り当てるかどうか設定します。	使用する
割当 IP アドレス※	パソコンへ割り当てるIPアドレスを設定します。	192.168.0.2 から 16 台
管理設定		
管理ユーザ名	BroadStation の設定画面へログインする際のユーザ名です。	root（変更不可）
新パスワード	BroadStation の設定画面へログインする際のパスワードを設定します。	なし
パスワード確認	確認のためにパスワードを再度入力します。	なし
UPnP 機能	UPnP 機能を使用する / しないを設定します。	使用する

項目	説明	出荷時設定
PPPoE 設定		
デフォルトの接続先	「接続先経路」が存在しない場合や「基本設定」で、「IP Unnumbered を使用する」を選択した場合の接続先です。	1：名称なし
接続先設定	ここで接続先を選択すると、各接続先の設定が表示されます。	1：名称なし
接続先名称	接続先を識別するための名称です。	空欄
接続ユーザ名※	PPPoE の認証に使用する接続ユーザ名を設定します。プロバイダに指定された接続ユーザ名を入力してください。	空欄
接続パスワード※	PPPoE の認証に使用する接続パスワードを設定します。プロバイダに指定された接続パスワードを入力してください。 正しく接続パスワードが入力されていることを確認するため、（確認用）の欄にも同一の接続パスワードを入力します。	空欄
サービス名	接続する PPPoE 端末のサービス名を設定します。プロバイダから指定のない場合は空欄に設定してください。	空欄

項目	説明	出荷時設定
接続方法	BroadStation（PPPoE クライアント）がプロバイダに接続するタイミングを指定します。 常時接続： BroadStation の起動と同時に PPPoE サーバに接続して、常時接続したままにします。 オンデマンド接続： インターネットに接続するときのみ、PPPoE サーバに接続します。無通信状態のまま、「切断時間」に設定した時間が経過すると接続を切断します。 手動接続： 自動では接続されません。トップページの「接続」ボタンが押された時に接続します。無通信状態のまま、「切断時間」に設定した時間が経過すると接続を切断します。	オンデマンド接続
切断時間	CATV/ x DSL 回線へ接続してから切断するまでの時間を分単位で設定します。 （設定可能範囲：0 ～ 1440 分）	20 分
認証方法	プロバイダとの認証方法を設定します。	「自動認証」
MRU 値	PPPoE 上で、通信を行なう際に使用する MRU(Maximum Recive Unit) を 578 ～ 1492 の範囲で設定します。 TCP通信時のMSSが「MRU - 120」（ただし 4byte ごと）より大きい場合、「MRU - 120」（ただし 4byte ごと）に置き換えます。	1454
キープアライブ	キープアライブの設定をします。	有効
設定項目の有効	現在設定中の接続先を有効または無効にします。	有効にする
接続先	宛先アドレスと送信元IPアドレスが一致する通信の場 合に PPPoE 接続を行う接続先の設定です。	「1：名称なし」

項目	説明	出荷時設定
宛先アドレス	通信の宛先アドレスです。 このアドレス宛へ通信を行うと「接続先」に設定した接 続先へ通信を行います。	空欄
送信元アドレス	通信の送信元のアドレスです。 この送信元アドレスから通信を行うと「接続先」に設定し た接続先へ通信を行います。	空欄
経路の追加位置	経路をどこに追加／挿入するかを設定します。	末尾に追加
DHCP サーバ（IP アドレス自動割当）設定		
DHCP サーバ機能※	IP アドレスを BroadStation から自動的に割り当てるかどうか設定します。	使用する
割当 IP アドレス※	パソコンへ割り当てるIPアドレスの範囲を設定します。 メモ　範囲内で割り当てを除外する IP アドレスを指定できます。	192.168.0.2 から 16 台
リース期間	IP アドレスのリース時間（期間）を設定します。	48 時間
デフォルト ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイを設定します。通常は､「ブロードステーションの IP アドレス」を設定します。	ブロードステーションの IP アドレス
DNS（ネーム）サーバアドレスの通知	DNS サーバとして通知する IP アドレスを設定します。	ブロードステーションの IP アドレス
ドメイン名通知	通知するドメイン名を設定します。	空欄
アドレス変換設定		
アドレス変換	IP マスカレード機能を使用する／使用しない を設定します。	使用する
DMZ のアドレス	変換先不明の IP パケットを WAN 側から受信したときに転送する IP アドレスを設定します。	空欄
ログ出力	BroadStation 側からのアクセスに対し､IP マスカレード機能によって破棄されたパケットの情報をログ情報に出力します。	無効

項目	説明	出荷時設定
WAN 側 IP アドレス	WAN 側と通信するときに使用する IP アドレスを設定します。	ブロードステーションの WAN 側 IP アドレス
プロトコル	IP 上のプロトコルを指定します。「任意」を選択したときは、プロトコル番号を入力します。「TCP/UDP」を選択したときは、「ポート」を選択し、必要に応じ任意のポート番号を入力します。	TCP/UDP
LAN 側 IP アドレス	WAN 側からのアクセスを受けたいパソコン（サーバ等）の IP アドレスを入力します。「ポート」で指定した WAN からの通信は全て、このパソコンに転送されます。	手動設定
経路設定		
WAN 側 RIP 送信	WAN 側に送信する RIP 情報を設定します。	なし
WAN 側 RIP 受信	WAN 側から受信する RIP 情報を設定します。	なし
LAN 側 RIP 送信	LAN 側に送信する RIP 情報を設定します。	なし
LAN 側 RIP 受信	LAN 側から受信する RIP 情報を設定します。	RIP1 と RIP2 両方
宛先アドレス	宛先の IP アドレス／サブネットマスクを設定します。	空欄（255.255.255.0）
ゲートウェイ	宛先の IP アドレスへ通信パケットを送信するときに中継する IP アドレスを設定します。	空欄
メトリック	宛先の IP アドレスまでに超える必要があるルータの数を設定します。	15

項目	説明	出荷時設定
パケットフィルタ設定		
フィルタの設定	指定したフィルタの有効／無効を指定します。	「NBT パケットルーティングを禁止する」、「IDENT 要求を拒否する」「WAN 側からの PING に応答する」が有効
動作	フィルタの動作時の設定をします。	「WAN（インターネット）側」からのパケットを「無視」する
宛先 IP アドレス	通信パケットを通さない宛先IPアドレスを設定します。	空欄
送信元 IP アドレス	通信パケットを通さない送信元IPアドレスを設定します。	空欄
プロトコル	WAN 側からこのポートに対してアクセスがあった場合、LAN 側 IP アドレスで指定されたパソコン（サーバ）に転送されます。 「任意」を選択したときは、プロトコル番号を入力します。「TCP/UDP」を選択したときは、「ポート」を選択、または任意のポート番号を入力します。	TCP/UDP
ログ出力	設定したパケットを検出したときにログを出力します。	しない
フィルタの追加位置	フィルタをどこに追加 / 挿入するかを設定します。	ルールの末尾に追加

項目	説明	出荷時設定
アタックブロック設定		
アタックブロック機能	WAN 側からの不正アクセス（アタック）を検知する機能を使用するかどうかを設定します。	使用しない
IP Spoofing	IP Spoofing（なりすまし）攻撃をブロックします。 ※「IP Spoofing」とは、外部ネットワークの発信元から、内部ネットワーク等のIPアドレスに偽装し（なりすまし）てアクセスし、攻撃の起点にすることです。	ブロックしない
しきい値	BroadStation へのアクセスがアタックであるかどうかの判断をするためのしきい値を設定します。 値を小さくするほど、アタックと思われるアクセスに対して敏感になりますが、誤報の可能性も大きくなります。	5
メールで通知する	アタックを検知した場合に、電子メールを使って通知するかどうかを設定します。	無効
通知先メールアドレス	アタックを通知するメールの宛先メールアドレスを設定します。	―
送信元メールアドレス	送信元（送信者）のメールアドレスを入力します。 空欄にした場合、通知先メールアドレスと同じものが使われます。	―
送信元メールサーバアドレス （SMTP サーバアドレス）	メール送信に使用するSMTPサーバのアドレスを設定します。	―
受信メールサーバ認証（POP3 認証）	メール送信前にメール受信が必要なメールサーバを使用する場合に、POP3 サーバのアドレス、ユーザ名およびパスワードを設定します。	―
メール送信テスト	メールアドレスなどの設定内容が正しいかどうかを確認するために、テストメールを送信します。	使用しない

項目	説明	出荷時設定
パソコンの画面にポップアップで通知する	アタックを検知した場合に、起動しているパソコンに、アタックを通知する画面をポップアップするかどうかを設定します。	無効
通知先パソコンの IP アドレス	アタックを通知する画面をポップアップするパソコンのIPアドレスを設定します。	ー

■　機器診断画面の機能一覧

項目	説明
本体情報	
製品名	BroadStation の製品名を表示します。
ブロードステーション名	BroadStation 名を表示します。
WAN 側有線設定	WAN 側通信方式と MAC アドレスを表示します。
LAN 側有線設定	BroadStation の LAN 側の MAC アドレスを表示します。
DHCP サーバ機能	IP アドレス自動割当機能を使用する／しないを表示します。
WAN 側 IP アドレス	BroadStation の WAN 側 IP アドレスを表示します。
LAN 側 IP アドレス	BroadStation の LAN 側 IP アドレスを表示します。
通信パケット情報	
送信パケット数	送信したパケット数を表示します。
送信エラーパケット数	送信エラーとなったパケット数を表示します。
受信パケット数	受信したパケット数を表示します。
受信エラーパケット数	受信エラーとなったパケット数を表示します。
ping テスト	
BroadStation から目的のパソコンへ通信が可能かテストします。 「宛先」欄に宛先の IP アドレスを入力して［実行］をクリックすると、ping テストが実行されます。	
ログ情報	
BroadStation の動作記録を表示します。BroadStation が正常に動作しない場合は、ここから原因を探ることができます。 ［最古］ボタン　：BroadStation が記録している一番古い情報を表示します。 ［古ページ］ボタン　：現在表示している情報より 1 ページ分、古い情報を表示します。 ［新ページ］ボタン　：現在表示している情報より1ページ分、新しい情報を表示します。 ［最新］ボタン　：BroadStation が記録している一番新しい情報を表示します。 ［削除］ボタン　：BroadStation が記録している情報を消去します。	
設定初期化	
BroadStation の設定を初期化したり、BroadStation を再起動したりできます。動作を選択して［実行］をクリックすると実行されます。 ※［再起動］のみ行なった場合は、設定項目が初期化されることはありません。	